

都立武蔵村山高等学校 グランドデザイン

【生徒／学校の現状】

- 素直で真面目な生徒が多い。
- 指示されたことや与えられた課題に対して取組むが、全般的に受け身であり、主体性に欠ける。
- 失敗を恐れるとともに、取組む前に諦める傾向が有る。
- 他者と協力して物事を成し遂げた経験が乏しい。

【予想される社会の変化】

少子高齢化による生産年齢の減少、人工知能による第4次産業革命の中、予測困難な社会の変化に積極的な対応が求められる。

【教育目標】

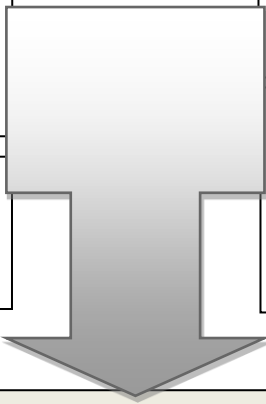
大愛に生きる人であれ
大愛は
至純を尚ぶ、人間性を重んずる、誠実であることを求める、
厳正であることを欲する、健康であることを願う

【学校像/学校経営計画】

生徒一人一人の力（のびしろ）を最大限伸ばし、真に社会で活躍できる人材育成を目標に、2つの柱を基に教育活動を推進

1 学力向上と希望進路の実現

2 活力ある学校生活の実現（学校行事・部活動の充実）



【目指すべき生徒の将来像（20年後の生徒の姿など）】

真に自立し社会で活躍できる人間



【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力】

1. 「生きる力」の基盤である、**基本的生活習慣**

2. 時を守り、場を清め、礼を正すことを軸に、自律した人間となるための、**規範意識**

3. 自らが考え、選択し、取り組む、**主体性**

4. 主体的に他者の意見を聴き、「知る」「学ぶ」「考える」「伝える」の基盤となる、**傾聴力**

5. 物事の結論を導く過程において、「なぜ」「本当にそうなのか」と批判的に問うことで納得のいく結論に到達するための、**批判的思考力**

6. 失敗を恐れず、高みを目指して自分の力を最大限伸ばそうと挑戦する、**可能性を信じる力**

7. 様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となるための、**協働してより大きな成果を創造する力**

【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力に基づくループリック】

育成すべき 資質・能力	レベル1	レベル2	レベル3	目指すべき 生徒の将来像
基本的生活習慣	規則正しい生活を送る、日々の授業をしっかりと受けるなど、教員や保護者の指導・助言を通し健全な学校生活を送ろうと努力している。	基本的な生活習慣を継続し、そのうえで自分の行動が周囲に良い影響を与えるように意識して行動することができる。	基本的な生活習慣が確立され、社会でも通じる行動が主体的にでき、他者の模範となることができる。	真に自立し社会で活躍できる人間
規範意識	ルールやマナー、時間を守ることができる。	ルールやマナーを理解し、場面に合わせて自発的に行動することができる。	場面や状況に応じた適切な振る舞いができ、さらに他者に声を掛け、望ましい行動を促すことができる。	
主体性	学習や学校行事をはじめとする特別活動、部活動などにおいて提示された目標に向かって取り組むことができる。	学習や学校行事、部活動などに対して自ら目標の設定や選択をし、積極的に取り組むことができる。	学習や特別活動、部活動などに対して到達の目標を明確にし、手段を工夫して、積極的に取り組むことができる。その取り組みを継続し、周りに広げることができる。	
傾聴力	相手の話を丁寧に聞き、正確に理解しようとする態度がある。 意見や立場が異なる他者がいることを知る。	相手の話しやすい環境を作り、適切なタイミングで質問するなど、共感の意思表示をすることができる。 多様な意見や立場を尊重することができる。	相手の話を正確に理解し、自らの思考を深めたり、相手の真意を引き出したりすることができる。さらにグループ内の協調性だけに留まらず、多様な人々とのつながりや協働を生み出すことができる。	
批判的思考力	筋道を立てて考えることができる。	様々な面から物事を考えることができる。	既存の価値観等にとらわれず、新たな方向性を見出すことができる。	
可能性を信じる力	取り組みたいことやチャレンジしたいことを見つけ、自ら目標を立てることができる。	自ら目標を立て、その達成に向けて行動することができる。	自らの進路を見据えながら目標を明確にし、計画的にあきらめずチャレンジし続けることができる。その姿勢を周囲に波及させることができる。	
協働してより大きな成果を創造する力	個人よりも、他者との協働により、大きな成果を創り得ることを理解できる。	自分たちが立てた目標に対して集団で話し合い、役割を決め実行することができる。	自分たちで立てた目標に向けて、具体的な行動例を示しながら、計画を立て、全体を把握し集団を導くことができる。	